

庄農通信

校訓 行学一如 (ぎょうがくいちによ)

平成31年度号外
山形県立庄内
農業高等学校

〒999-7601 山形県鶴岡市
藤島字古楯跡221番地
TEL 0235(64)2151
http://www.shonai-ah.ed.jp
平成31年4月5日(金)発行
文責 青柳 晴雄

<行事予定>

<4月>

- 1日(月)
- 2日(火)
- 3日(水)
- 4日(木) 職員会議
- 5日(金)
- 6日(土)
- 7日(日)
- 8日(月) 新任式・始業式
入学式
- 9日(火) 課題テスト
対面式・部紹介
- 10日(水) 身体計測 部見学
- 11日(木) 心電図検査(1年)
- 12日(金) 服装検査
- 13日(土)
- 14日(日)
- 15日(月)
- 16日(火) 尿検査・貧血検査(1年)
- 17日(水) 部登録 内科検診
- 18日(木) 歯科検診(午後)
- 19日(金) レントゲン(1年)
- 20日(土)
- 21日(日)
- 22日(月) 内科検診
- 23日(火) 眼科検診
- 24日(水)
- 25日(木) SC相談日
- 26日(金)
- 27日(土) PTA総会
- 28日(日)
- 29日(月) 昭和の日
- 30日(火) 退位の日



<5月>

- 1日(水) 即位の日
- 2日(木) 休日
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 7日(火)
- 8日(水) SC相談日
- 9日(木) 歯科検診(午後)
- 10日(金) レントゲン(1年)
- 11日(土)
- 12日(日)
- 13日(月) 4/27(土)分代休
- 14日(火) 服装頭髪検査

4. 8 平成31年度山形県立庄内農業高等学校入学式

入学おめでとうございます!

食料生産科27名・食品科学科23名 計50名の新入生



合格発表の様子

ご入学おめでとうございます。
皆さんが学ぶ庄内農業高等学校は、
明治三十四年に開校以来、今年で一
八年を迎える、県内屈指の歴史と伝統
を誇る庄内唯一の農業高校です。

これまでには地域の農業や各種産業、
行政や文化を支える
方々をはじめ、山形
県はもちろんのこと、
界を舞台に、様々な
分野で幅広く活躍す
る多くの優れた先輩
諸氏を輩出してまい
りました。
皆さんも、素晴ら
しい先輩方に負けな
いよう、この庄内農
業での学びを通し、
庄内を愛し、誇りを
持ち、地域で、日本
で、そして世界で活
躍できる人を目指し
てください。



入学生説明会の様子

三年後の成長した自分を思い描き
ながら、明日からの学校生活でたく
さんの達成感と充実感を手に入れて
ください。

ここ庄内農業高校で大きく、逞し
く成長することを期待します。



入学者説明会の様子

新入生50名を担当する新1学年団の先生方 初めまして! 担任団

学年主任
松田 大樹
教科: 商業
柔道部顧問
生徒保険課
3月1日

に担任として卒業生を送り
出したばかり。藤島在住

A組食料生産科
担任
増子 和子
教科: 家庭
映画演劇部顧問
進路指導課
昨年は生徒
会を担当し庄農祭大成功に。

B組食品科学科
担任
後藤 真琴
教科: 農業
農業部顧問
教務課

今年は食品加工を担当。生
徒と一緒に頑張るぞ!

A組副担任
佐竹 正浩 農業
生徒保健課 農業部
B組副担任
大沼 志帆 国語
生徒保健課
バドミントン部
学年付職員
長南 優 農業
農業課 農業部

6名の担任団で、新
第1学年を担当します。
保護者の皆さんととも
に、生徒諸君の高校生
活が充実し、目標達成
できるように、頑張っ
てまいりますので、ご
理解・ご協力の程よろ
しくお願いいたします。



H30年度入学式より

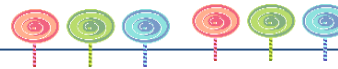
アクセスしてネ! HP

http://www.shonai-ah.ed.jp

庄内農業高校の情報が満載...

インターネットを使って

庄内農業高校で検索して下さい!



浩然の気！それが庄農

特別額きかざす象徴の 穂は千万の民の糧（本校校歌1番）



H30入学式より

式 辞

初春の令月にして 気淑く風和らぎ
梅は鏡前の粉を披き 蘭は珮後の香を薫す

ここ藤島の地にも春が訪れ、心浮き立つ今日の良き日に、本校瑞穂同窓会長 齋藤 隆 様、本校PTA会長 加藤 欣也 様、また鶴岡市長 皆川 治 様、三川町長 阿部 誠 (せい) 様をはじめ、多数のご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、山形県立庄内農業高等学校 平成31年度入学式を挙行できますことは、生徒並びに教職員一同の大きな喜びであります。誠に有難うございました。

ただ今、入学を許可いたしました食料生産科27名、食品科学科23名の新入生の皆さん本当におめでとうございます。

また、この日を迎えられましたことは、保護者・ご家族の皆様にとりましても、感慨ひとしおのことと存じます。重ねてお祝い申し上げます。

さて、5月1日から元号が「令和」と改まる記念すべきこの年に、「新入生の皆さんは今日、人生の一つの節目として、高校生活のスタートラインに立ちました。今は式に臨む緊張感、そして期待や不安でいっぱいではないでしょうか。

皆さんが学ぶ庄内農業高等学校は、明治34年に開校以来、今年で118年を迎える、県内屈指の歴史と伝統を誇る庄内唯一の農業高校です。

これまでには地域の農業や各種産業、政治や文化を支える方々をはじめ、山形県はもちろんのこと、全国、更には世界を舞台に、様々な分野で幅広く活躍する多くの優れた先輩諸氏を、年々歳々「国の大本 農の業」で始まる伝統ある校歌を歌い、送り出してまいりました。

皆さんも、素晴らしい先輩方に負けないよう、この庄内農業での学びを通して、庄内を愛し、誇りを持ち、地域で、日本で、そして世界で活躍できる人を目指してください。

また、庄内農業高校には、多くの先生がいます。本校職員は、常に皆さん一人一人を見つめ、声を聞き、話しかけ、力を尽くして指導にあたります。わからないこと、困ったこと、悩んでいること、何でも相談してください。

時には厳しく指導しますが、これは私たち職員が“本気”で皆さん一人一人の成長と将来の幸せを願っているからです。私たちは、保護者の皆さんとともに、あなたたちを全力でサポートしてまいります。

そして、農を通して高めあう仲間がいます。ここにいる50名の同級生、そして2年生・3年生の先輩方はもちろんのこと、県内にある5つの農業高校・農業学科で学ぶ1千名及び仲間が、そして、全国の農業高校・農業学科で学ぶ8万人を超える仲間がいます。

今年10月22日～24日には、全国の農業高校生が集う第70回日本学校農業クラブ連盟全国大会が、山形県を中心に南東北三県で開催されます。本校は山形市スポーツセンターを会場に、五千名のクラブ員が参加する大会式典の運営を担当することになっております。

農業高校ならではの学習や体験に加え、全国大会の運営を通しての多くの学び、感動や出会いを大切に、様々な場面で自分自身を磨き高めていってください。

更に、皆さんを支えてくれる多くの人があります。それは、ここ庄内一円に在る本校の教育活動にご尽力いただいている多くの地域の方々です。この3年間で、地域の方々との関わりを大切に、地域をテーマとした学習活動に取り組むことで、地域の未来を担う態度と意欲を身に付けて欲しいと考えております。近い将来、この庄内を担っていかねばならないのはあなた方です。自覚を持って学習に取り組んで下さい。

今、教育界は大転換期を迎えようとしています。高大接続改革と新学習指導要領の実施。その中で、「主体的・対話的で深い学び」が提唱され、従来の「何を学ぶか」に加え、「どう学ぶか」「何が出来るようになるか」が大切であるといわれています。

また、もう一つの大切な視点として地域創生があります。地域との連携・協働の取り組みを通して、地域課題を知り、主体的に関わる態度を養うことで、将来的な若者の地域定着、地域の未来を担う人材の育成を目指すといった内容です。

これは、よくよく考えてみると、私たち農業高校に学ぶものが、農業学習や農業クラブ活動を通して、取り組み、追い求めてきたことだと感じるのは私だけでしょうか。

この教育界に吹く大きな風が、日々農業学習を通して、地域と共に、主体的・対話的に探究する農業学習の追い風になるものと確信しております。

これまでの知識偏重の教育を改め探求型へ、理論から実践へと脱却、それは簡単にいえば「何を知っているか」ではなく、「何が出来るか」が重要であり、その実践を通して得た力こそ本当の学力ということなのです。

これはまさに、本校の校訓である「行学一如」が示すよう、「学習と実践の両輪がそろってこそ、「本当の学力」が育まれることを指しております。

本校で大切にしている学力は、知識や技術に留まらず、それを活用できる力です。知識を得ることは大切ですが、テストで良い点数を取るための勉強では、それが身に付きません。

本校の農業学習を中心とした実践の中から、自らが気付き、判断し、行動する本当の学力を身に付けてください。それがきっと、近い将来、地域を担う貴方たちの大きな支えになることでしよう。

入学に際し、もう一つお願いします。「国の大本 農の業」からはじまる本校の校歌は、「荒城の月」等を作詞した土井晩翠氏が作られたものです。

同窓会総会や各地域で行われている同窓会の集まりでは、本校を卒業した先輩方は大きな声で校歌を歌います。校歌はまさに本校のシンボルであり、庄農生の誇りでもあります。

皆さんも、この校歌を堂々と、誇りと自信を持って歌って欲しいのです。



H31年度 入学式

御来賓名簿

- 本校瑞穂同窓会
会長 齋藤 隆 様
- 本校PTA
会長 加藤 欣也 様
- 鶴岡市
市長 皆川 治 様
- 三川町
町長 阿部 誠 様
- 本校瑞穂同窓会(鶴岡市議会議員)
副会長 渋谷 耕一 様
- 山形県立農林大学校
校長 今田 邦信 様
- 鶴岡市立藤島中学校
校長 岡部 豊 様
- 鶴岡市藤島支庁
支庁長 武田 壮一 様
- 山形県農業総合研究センター
水田農業試験場
場長 早坂 剛 様
- 山形県庄内蔵合支庁産業経済部
農業技術普及課
課長 富樫 一幸 様
- 山形県庄内蔵合支庁産業経済部
酒田農業技術普及課
課長補佐 石垣 仁 様
- 本校PTA
副会長 押井 一之 様
- 本校PTA
副会長 押井 寛喜 様
- 本校瑞穂同窓会
理事 成澤 正身 様
- 本校瑞穂同窓会
理事 阿曾 千一 様
- 本校瑞穂同窓会
理事 去渡 勝宏 様



なぜなら、この校歌に謳われる「小さなことに動じない、ゆったりとした大きな気持ちを持ち、苦しい時こそ、天地に恥じない道理にかなった道を選ぶ勇氣を持つこと。」それを校歌が教えてくれているのです。

保護者の皆様には、今日からともにも手を取り合って進んでいくこととなります。私たち教職員は、目指すところを同じくしながら、熱意をもって指導にあたり、日々努力を重ねてまいりますので、学校の教育活動へのご理解とご協力をお願い致します。

最後に、入学生の皆さんは、ご家族をはじめ、君たちを支えてくださる方々へ、心援えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、三年後の成長した自分を思い描きながら、明日からの学校生活でたくさんの達成感と充実感を手に入れてください。

ここ庄内農業高校で大きく、逞しく成長することを期待します。

平成31年4月8日
山形県立庄内農業高等学校
校長 青柳晴雄